

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 9 週分・2 月 24 日～3 月 2 日)

■今週の主な動向

○感染性胃腸炎の報告数が増加しました。

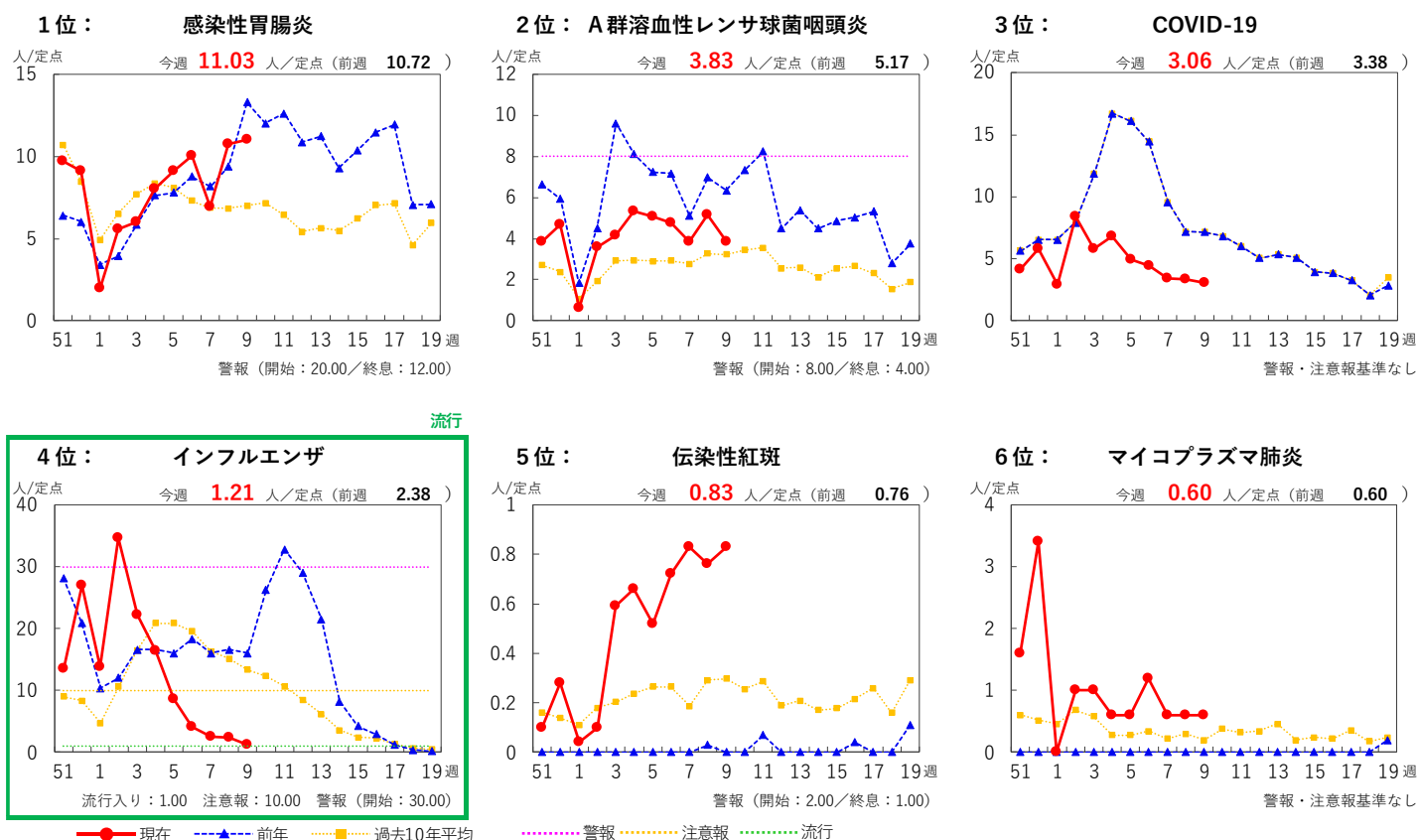
小児科定点での報告数は 2 週続けて増加しました。ノロウイルスによる胃腸炎や食中毒では、マスク、手袋、エプロンを着用し、床面に付着したおう吐物を、次亜塩素酸を染み込ませた布等で拭き取りましょう。処理前後には部屋を換気しましょう。なお、県内でノロウイルスによる食中毒が多く発生しており、富山県生活衛生課はノロウイルス食中毒警報を発令しました。

○百日咳が第 9 週時点で 8 例報告されています（昨年 of 年間報告数：2 例）。

全国的にも報告数が増加しています。百日咳は、長引く咳が特徴です。咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 6 疾患（第 9 週・2/24～3/2）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 3 件（①80 歳代、男性 ②90 歳代、男性 ③90 歳代、女性）

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 件（90 歳代、男性）

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（第 8 週診断分：80 歳代、男性）

梅毒 2 件（①第 7 週診断分：40 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期

②第 8 週診断分：30 歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅰ期）

百日咳 4 件（①10 歳未満、男性 ②③ともに 10 歳代、男性 ④10 歳代、女性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





2025 年 3 月 5 日発行

富山県感染症発生動向速報（2025 年第 9 週分・2 月 24 日～3 月 2 日）

乳幼児・高齢者は要注意！ RS ウイルス感染症

《 インフォメーション 》

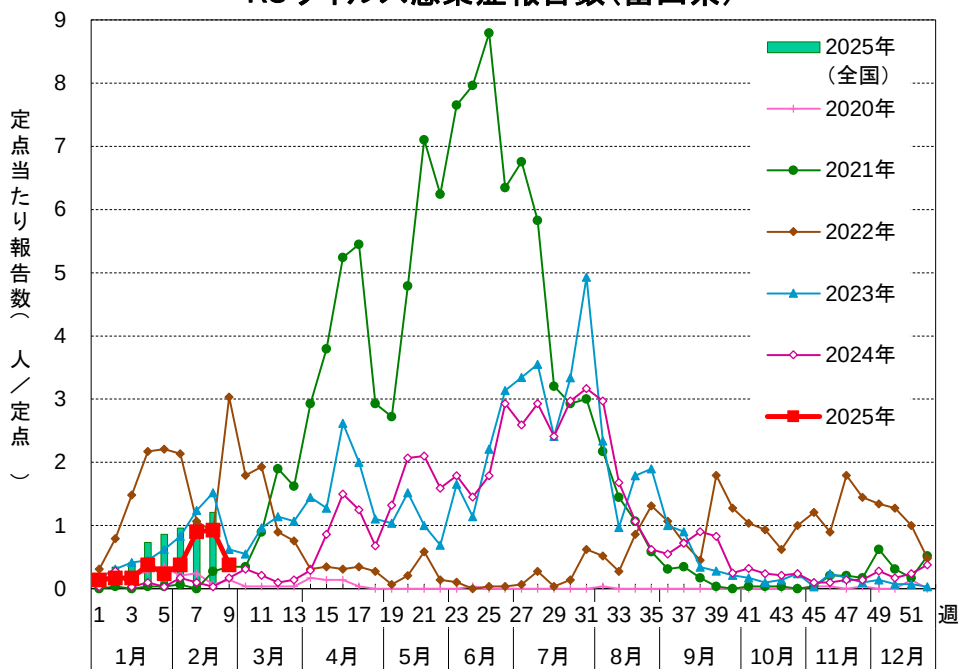
●RS ウイルス感染症

RS ウイルス感染症は、RS ウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。RS ウイルス感染症の小児科定点医療機関あたりの報告数は、新型コロナウイルス感染症流行前においては、全国的に 8 月下旬頃から増加し、秋にピークを迎える傾向がありましたが、2021 年以降は春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークを迎えています。全国の実患者報告数は今年に入ってから

増加傾向であり、第 8 週時点での報告数は 1.21 人/定点でした。富山県では、第 6 週以降報告数の増加が続いていましたが、今週は 0.38 人/定点に減少しました。今後の発生動向に注意が必要です。

RS ウイルス感染症は、3 歳以下の乳幼児に好発し、生後 1 歳までに 50%以上の方が、2 歳までにほぼ 100%の人が初感染を受けます。感染から 4～6 日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。1 歳未満、とくに 6 ヶ月未満の乳児や早産児では重症化しやすく、入院治療が必要となる場合もあります。また、高齢者や心臓・肺に持病のある人では重症化する場合があります。現在、RS ウイルスに対する治療薬はありません。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いや手指消毒、マスク着用などの基本的な感染対策で予防しましょう。また、60 歳以上を対象としたワクチン、および生まれてくる子の予防を目的に妊婦に接種するワクチンがあります。低出生体重児や免疫不全、心臓疾患などの基礎疾患がある乳幼児に対しては、抗 RS ウイルスヒト化モノクローナル抗体であるパリビズマブを投与することで、RS ウイルス感染症の重症化予防が期待できます。詳しくは医療機関へご相談ください。

RSウイルス感染症報告数(富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第9週 2025年2月24日～2025年3月2日）

分類		疾患	今週報告分（第9週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核				1	2	3	1		4	3	12	20
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1	2	3	1		1	3	6	11
	四類感染症	E型肝炎									2			2
		A型肝炎									1			1
		レジオネラ症									1			1
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1			1			2		1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1		3	4
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3
		侵襲性肺炎球菌感染症							4		2	3	5	14
		梅毒							1		2		5	8
		百日咳					4	4			3	1	4	8
定点把握（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	4	5	22	3	24	58	778	468	1,459	851	1,490	5,046
			0.57	1.00	1.69	0.43	1.50	1.21						
		COVID-19	25	14	59	24	25	147	454	219	538	376	474	2,061
			3.57	2.80	4.54	3.43	1.56	3.06						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		3		7	11	9	2	51		45	107
			0.25		0.38		0.70	0.38						
		咽頭結膜熱	2		4		2	8	30	8	87	1	16	142
			0.50		0.50		0.20	0.28						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8	38		60	111	36	60	382	35	542	1,055
			1.25	2.67	4.75		6.00	3.83						
		感染性胃腸炎	33	33	59	17	178	320	214	192	294	156	1,154	2,010
			8.25	11.00	7.38	4.25	17.80	11.03						
		水痘			1		2	3	2	6	11	4	18	41
					0.13		0.20	0.10						
		手足口病			1			1		1	2	1	1	5
					0.13			0.03						
		伝染性紅斑		1	11		12	24	1	7	74	2	62	146
				0.33	1.38		1.20	0.83						
		突発性発しん					1	1		2	14	5	21	42
							0.10	0.03						
		ヘルパンギーナ							8					8
		流行性耳下腺炎								3	1	1	4	9
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				2		2			4	9		13
						2.00		0.29						
		流行性角結膜炎									12	1		13
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
		マイコプラズマ肺炎			2	1		3	5		12	12	2	31
					2.00	1.00		0.60						
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2			2
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザ による入院患者（※1）			1			1	55	19	44	64	45	227
			COVID-19 による入院患者	5	1		5	1	45	41	38	88	100	312

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

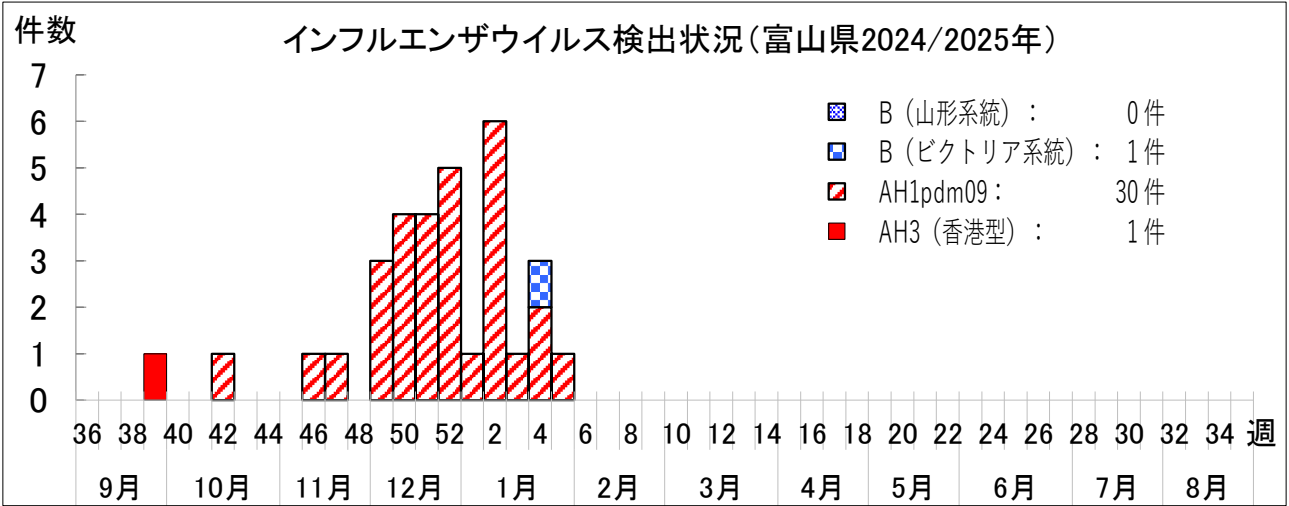
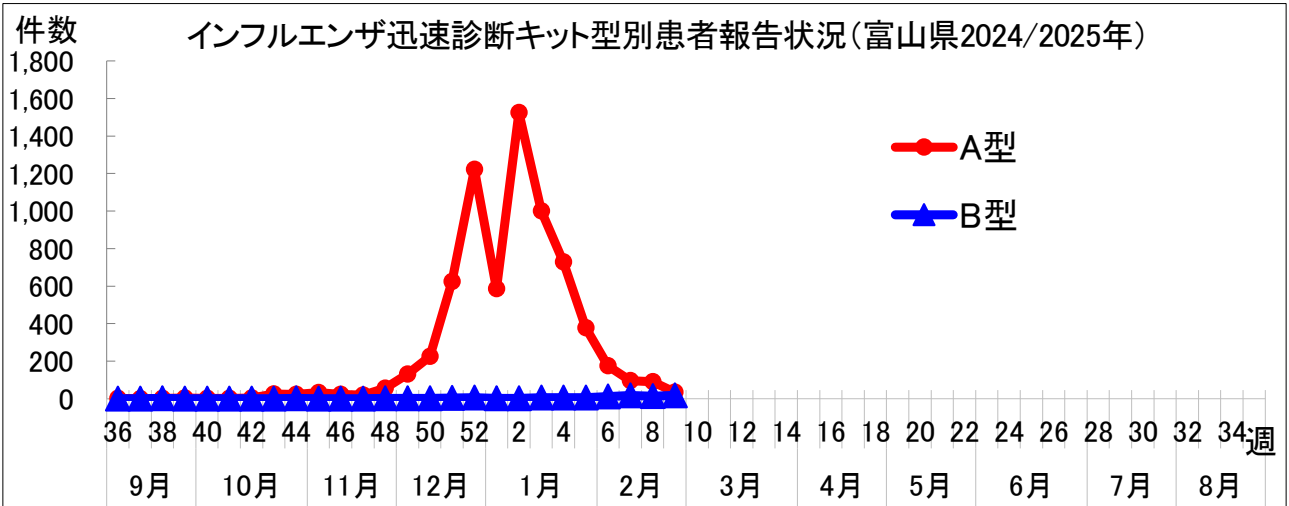
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
現在、下の表によると、A型が60.3%、B型が31.0%となっています。

第9週(2/24~3/2)：富山県 1.21人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	2 / 7	4	0	0	4
中部	5 / 5	3	1	1	5
高岡	9 / 13	16	6	0	22
砺波	1 / 7	1	2	0	3
富山市	10 / 16	11	9	4	24
富山県	27 / 48 ^{※1}	35	18	5	58
富山県累計(2024年36週~)		7,009	94	457	7,560

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が27か所あったことを示します。
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





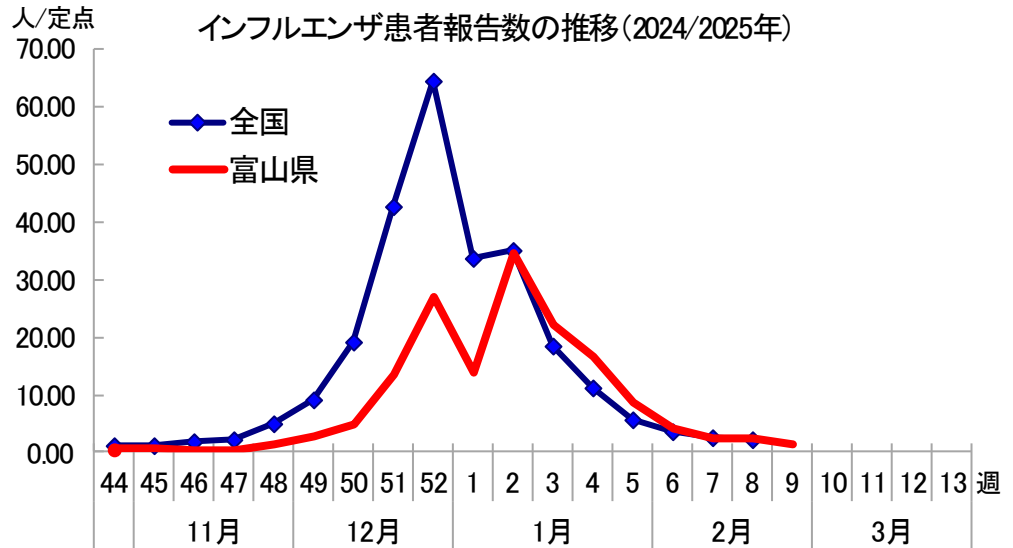
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第9週 (2/24～3/2) : 富山県 1.21 人/定点

新川 HC (0.57)、中部 HC (1.00)、高岡 HC (1.69)、砺波 HC (0.43)、富山市 HC (1.50)

全国の子報告数は、第8週に2.21人/定点となり、第2週から減少が続いています。

県内の子報告数は、第9週に1.21人/定点となり、全国と同様に第2週から減少が続いています。

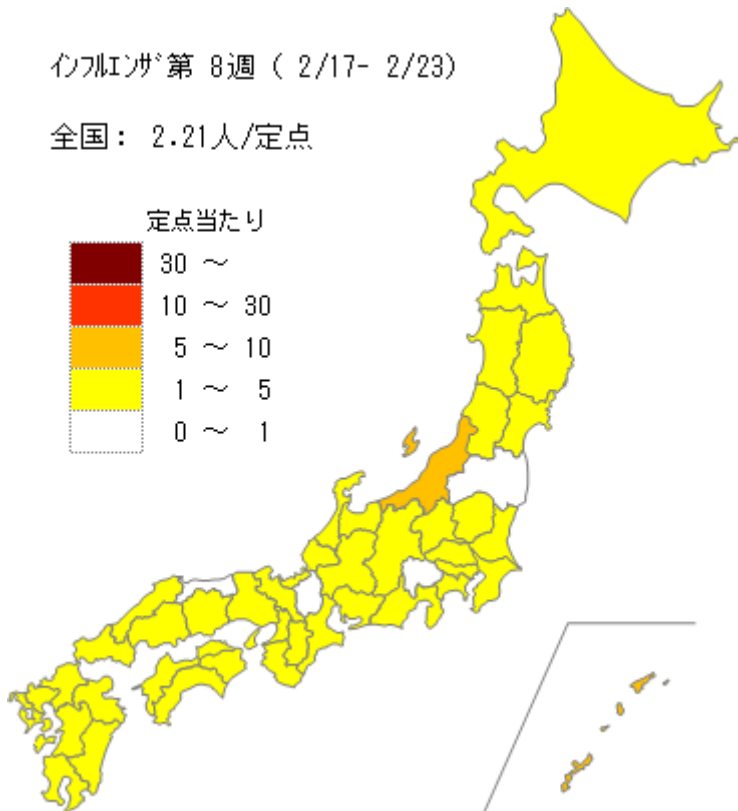


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第8週 (2/17～2/23)

全国の子報告数は、定点医療機関あたり2.21人となり、前週の2.64人より減少しました。10道府県で前週より増加しています。36都県で前週より減少しています。

インフル第8週 (2/17- 2/23)

全国: 2.21人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	3.73 ↑	滋賀県	0.92 ↓
青森県	2.72 ↓	京都府	1.61 ↑
岩手県	4.35 ↓	大阪府	1.71 →
宮城県	3.47 ↓	兵庫県	1.39 ↓
秋田県	1.50 ↓	奈良県	1.67 ↓
山形県	4.59 ↓	和歌山県	1.15 ↓
福島県	0.95 ↓	鳥取県	0.38 ↓
茨城県	1.62 ↓	島根県	3.66 ↑
栃木県	4.53 ↓	岡山県	1.25 ↓
群馬県	3.11 ↓	広島県	1.88 ↓
埼玉県	3.10 ↑	山口県	1.52 ↑
千葉県	3.10 ↑	徳島県	1.49 ↓
東京都	1.57 ↓	香川県	2.13 ↓
神奈川県	1.68 ↓	愛媛県	1.23 ↓
新潟県	6.07 ↓	高知県	1.50 ↓
富山県	2.38 ↓	福岡県	1.65 ↓
石川県	2.48 ↓	佐賀県	2.59 ↑
福井県	1.38 ↓	長崎県	1.50 ↓
山梨県	0.56 ↑	熊本県	1.16 ↓
長野県	3.31 ↑	大分県	1.84 ↑
岐阜県	1.78 ↓	宮崎県	1.34 ↓
静岡県	2.27 ↓	鹿児島県	1.30 ↓
愛知県	1.58 ↓	沖縄県	8.66 ↓
三重県	1.36 ↓	全国	2.21 ↓